

# 日独シンポジウム・ワークショップ - 交通とモビリティのための新たな政策と先端技術 -

Germany - Japan Symposium / Workshop

New Policy Measures and Advanced Technologies for Transport and Mobility

主催：交通技術システムネットワーク / ベルリン技術財団、ベルリン日独センター、  
(財)運輸政策研究機構、(財)計量計画研究所

日時：2006年2月28日(火)~3月2日(木)

場所：主婦会館プラザエフ・(財)運輸政策研究機構

わが国におけるドイツの魅力のアピールと日独の経済・技術交流の活性化を図ることを目的とした「日本におけるドイツ年」の一環として、日独双方の交通運輸分野の研究者による意見交換を目的として、「日独シンポジウム・ワークショップ - 交通とモビリティのための新たな政策と先端技術 -」を日独の関連4団体により開催しました。

シンポジウムは、2月28日(火)主婦会館プラザエフにて開催し、大学等の研究者、関係行政機関、交通事業者など約140名の皆様にご参加頂きました。佐藤信秋国土交通省国土交通事務次官と Mrs. Maria Krautzberger ベルリン州都市開発庁交通・環境担当次官からご挨拶を頂き、「21世紀の交通システムのあるべき姿 - 持続可能なモビリティの提供」と題して3編の基調講演と「交通とモビリティにおける新たな挑戦と政策」をテーマに7編の鉄道と道路に関する研究報告を行いました。IBS 黒川洸理事長は「日本の都市開発と交通運輸政策」と題して基調講演を行い、中村英夫武蔵工業大学学長には、特別講演として、「日本とドイツの交通の対比と相互協力の方向性」についてご講演頂きました。

ワークショップは、翌3月1日(水)に「日本とEUの鉄道 - 政策と技術 -」、「交通とモビリティのための小型衛星の活用と技術開発」、「公共交通 - 政策と技術 -」、「自動車 - 政策と技術 -」の4つのテーマについて日独双方の研究者、交通事業者等から合計19編の研究報告が行われました。

3月2日(木)は、テクニカルツアーを実施し、つくばエクスプレスを利用してつくばを訪問しました。(財)日本自動車研究所ならびに国土交通省国土技術政策総合研究所を訪れ、交通の先端技術の開発現場を視察しました。

## 日独シンポジウムプログラム

開会挨拶 森地 茂 運輸政策研究所長  
来賓挨拶 佐藤 信秋 国土交通省国土交通事務次官  
Mrs. Maria Krautzberger, Permanent Secretary  
in the Senate Department for Urban Development, State of Berlin

基調講演 「21世紀の交通システムのあるべき姿 - 持続可能なモビリティの提供」  
モデレータ: Prof. Ueda Koji, Deputy Secretary General,  
Japanese-German Center Berlin

(1)「交通とモビリティの革新 - 課題と目標」  
Assist. Prof. Wolfgang H. Steinicke, Managing Director TSB/FAV Berlin

(2)「日本の都市開発と交通運輸政策」  
黒川 洸 財団法人計量計画研究所理事長

(3)「ベルリンの戦略的モビリティマネジメント」  
Mrs. Maria Krautzberger, Permanent Secretary  
in the Senate Department for Urban Development, State of Berlin

特別講演 「日本とドイツの交通の対比と相互協力の方向」  
中村 英夫 武蔵工業大学学長

## シンポジウム

「交通とモビリティにおける新たな挑戦と政策」

第1部 モデレータ: 森地 茂 運輸政策研究所長

(1)「東海道新幹線 21世紀戦略」  
葛西 敬之 東海旅客鉄道株式会社代表取締役会長

(2)「国境なき後の鉄道 - 未来の競争的なヨーロッパの鉄道システムのための戦略」  
Assist. Prof. Wolfgang H. Steinicke, Managing Director, FAV/TSB Berlin

(3)「公民パートナーシップによる東京副都心としての渋谷の再生」  
太田 雅文 東京急行電鉄株式会社鉄道事業本部事業統括部事業推進課長

第2部 モデレータ: 黒川 洸 財団法人計量計画研究所理事長

(1)「道路インフラ資金調達方法としての公民パートナーシップ」  
Dr. Thorsten Beckers, Technical University Berlin

(2)「ノンストップ自動料金支払いシステムの利用促進」  
畠中 秀人 国土交通省道路局有料道路課企画専門官

(3)「岐路に立つ交通安全研究 - 安全性向上のための挑戦と方向性」  
Prof. Burkhard Horn, Transport Counsellor, Institute of National  
Telecommunication Bureau, Clamart, France

(4)「ガリレオ衛星ナビゲーションシステム」  
Prof. Klaus Brieß, Technical University Berlin

閉会挨拶  
Assist. Prof. Wolfgang H. Steinicke, Managing Director FAV/TSB Berlin



写真 - 1 シンポジウムでの来賓挨拶

シンポジウム・ワークショップの講演要旨については、「運輸政策研究 Vol.9 No.2(通巻第33号)」に掲載されておりますのでご参照下さい。  
(総務部総務課 谷貝 等)